



平成 22 年 11 月 29 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー エ ヌ ア イ
代 表 者 名 取 締 役 ・ 代 表 執 行 役 社 長 兼 CEO イ ン ・ ル オ
(コード番号:2160 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 田 中 忍
(TEL. 03-5326-3097)

中国における投資関連事項のお知らせ

当社とイーピーエス株式会社(東証一部上場:4282(以下「EPS 社」))は、当社の 100%子会社、上海ジェノミクス(以下「SG 社」)で開発中の医薬候補品 F351 の中国での共同開発等を目的に下記の通り、合弁会社を設立しました。これと併せて、中国における他の投資関連事項をお知らせいたします。

(1) 中国天津における合弁会社設立

当社は、平成 22 年 7 月 30 日付「中国における医薬品共同開発合意に関するお知らせ」の通り EPS 社と SG 社が特許を有する F351 の肝線維症対象の臨床開発及び製造販売を目的に中国における医薬品共同開発に合意致しました。その後、両社の相互の特徴を生かし、権利と義務を明確にし、組織的協調体制の下に開発から製造販売までを効果的に推進する目的で、平成 22 年 11 月 26 日に、EPS 社との間で、合弁会社の設立を申請し中国天津市政府から許可を得ました。

EPS 社は、F351 を下記の点で評価して、今回の共同開発に至ったもので、第2相臨床試験から共同開発をいたします。

(ア)特許成立国:(物質+用途)中国、カナダ、豪州、日本
(物質) 米国

(イ)中国での第1相臨床試験は好結果を以て完了し、類似構造のピルフェニドンの線維症治療における副作用を大幅に減少できる可能性があること。また、F351 は、肝線維症や特発性肺線維症のみならず、腎炎や多発性硬化症のような線維症に対しても適用可能性があること。日本へ導出できた場合は、合弁会社の利益として計上できること。

合弁会社の概要:

商号: (中文) 天津睿瀛生物科技有限公司
(英文) GNI-EPS Pharmaceuticals, Inc.

代表者: Dr. Ying Luo 董事長 (Chairman)

登録資本金: 5億円 (日本円)

払込資本金: 2億円 (日本円)

出資比率: 当社 50%、EPS 社 50%

設立年月日: 平成 22 年 11 月 26 日

本社所在地: 中華人民共和国 天津市

これに関して、当社は平成 22 年 11 月 15 日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、F351 に関す

る中国及び日本での特許使用権の部分譲渡に伴う、EPS 社からの対価支払いを以て、現在の資金を使うことなく資本金の払い込みを行いますと共に、SG 社は、合弁事業の実務を一括受託することにより、同社の一般管理費及び開発経費が大幅に低減します。

(2) Beijing Continent Pharmaceuticals CO., Ltd. (以下「BC 社」)持分の売却

当社では、2007 年7月に、中国における製薬設備確保を目的に、同社の株式を 12%取得しました。然しながら、最近、中国国家食品薬品监督管理局(SFDA)による設備設定条件(GMP)が一層厳格になり同社も追加投資を迫られる状況ですが、当社では、ここに追加投資をした上に、必要設備を持つ経済性を検討結果、活用の可能性が低いと判断し、これまでに投資金を減価してまいりました。この度、先方から経営体制変更の目的で当社の持分の買い取りの打診があったことを機会に、持分を売却しました。

残存簿価が 17 百万円でありましたので、入金額 24 百万円との差額は平成 22 年 11 月 15 日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り6百万円を特別利益に計上いたしました。これで BC 社との投資関係は解消されました。

(3) 今後の業績に与える影響

今後につきましては、当合弁会社の事業が進展し、連結業績に重要な影響が見込まれる場合には別途発表いたします。

以 上